

女性部会報告（第46回技術士全国大会への協力）



徳島県農林水産部農林水産基盤整備局

岡本 雅美

Okamoto Masami

（農業部門）

1. はじめに

徳島県技術士会女性部会（以下、「女性部会」と略記）は、平成25年に女性部会のメンバー6名で発足し、令和元年11月現在は、8名で活動しています。活動としては、技術系の職場などで働く女子社員や技術者を目指す女子学生を対象として、気軽に意見交換ができる場の提供と、女性技術者間のネットワークづくりへの寄与を目的とした「阿波なでしこ技術サロン」を、平成27年度から毎年1回、開催してきました。

本年度は、新元号にちなんで…というのはたまたまですが、徳島県で第46回技術士全国大会が開催されたことから、この中の関連行事と分科会への協力という、新たな活動に取り組みました。

本稿では、本年度の女性部会の活動についてご報告します。

2. 第46回技術士全国大会関連行事および第三分科会の実施状況

（1）概要

本年度は、10月5日から7日にかけて実施された日本技術士全国大会において、「男女共同参画」の活動への協力という形で、次のとおり活動を実施しました。

表1 活動概要

名称	第46回技術士全国大会関連行事および第三分科会（協力活動）
開催日時	令和元年10月5日（土）15:00～16:30 10月6日（日）9:30～12:30
主催等	（公社）日本技術士会四国本部
参加費	無料
参加者数	10月5日：20名 10月6日：41名（参加者30名+スタッフ11名（うち女性部会8名））
プログラム	10月5日 15:00～16:30 寺町散策（とくしま観光ガイドボランティア会の協力により案内） 10月6日 9:30～12:30 第三分科会「男女共同参画」グループワーク（ファシリテータおよび記録係）

(2) 寺町散策

寺町散策は、あわぎんホール裏口（川側）を出発地点とし、寺町方面へ移動しながら各種旧跡を巡り、最後は瀧の焼き餅和田乃屋にて休憩し、解散する経路で行いました。台風一過のよく晴れた天気の下、ガイドボランティアの軽妙な案内に連れられて、松江豊寿大佐の居住跡から始まり、池邊眞榛（いけばまはり／国学者）墓所、モラエス墓所、東洲斎写楽墓所、日蓮正宗敬大寺（日蓮正宗の古刹寺）などの多様な史跡を巡り、寺町周辺の魅力を共有することが出来ました。



写真 1 案内の様子



写真 2 和田乃屋さんにて

(3) 第三分科会「男女共同参画」グループワーク

全国大会第三分科会では、「地域活性化に寄与する男女共同参画のあり方～自分らしく働き続けるために～」をテーマとして、第一部で小論文発表、第二部でグループワークを開催しました。女性部会では、このうち、第二部のグループワークにおけるファシリテータおよび記録係を担当しました。

グループワークは、女性部会の活動でもお馴染みのワールドカフェ方式の一部を用いて、各グループ（テーブル）を自由に移動して意見交換を行うとともに、最後は最初のグループに戻って意見の整理と発表を行いました。グループワークでは、これまでの「阿波なでしこ技術サロン」と同じく、和気あいあいとした中で、活発な話し合いを行うことが出来ましたが、今回はさらに、男性技術者も多数参加されており、男女共同参画の名にふさわしく、男女の垣根を越えた意見交換を行うことが出来たと思います。

表 2 グループワークの内容等

グループ名	議題
Aグループ	子育てと仕事の両立
Bグループ	女性技術者の利点
Cグループ	多様性を生かす環境
Dグループ	技術者のあり方
Eグループ	ワークライフバランス



写真 3 グループワークの様子

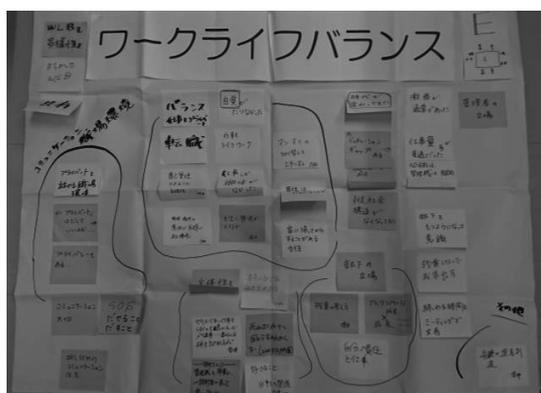


写真 4 模造紙への取りまとめ



写真 5 発表の様子

3. アンケート結果と評価

第三分科会終了後にはアンケート調査を行い、参加者 30 名中 27 名から回答を得ました。アンケート結果を、今回の活動の一つの評価としてご報告します。

問 1) 第三分科会の話題はよかったか

まあ良かった 7%(2名)

良かった: 93%(25名)

問 2) 男女共同参画のあり方は参考になったか

あまり参考にならなかった 4%(1名)

参考になった: 70%(19名)

まあ参考になった
26%(7名)

問 3) グループワーク方式をどう思うか

まあ良かった 11%(3名)

良かった: 89%(24名)

問 3 では、今回のように小論文から抽出したキーワードを元にグループにて話し合いをする方式についての評価を伺い、回答者全員から、高評価を得ました。

問 4) グループ内で話すことができたか

話せた: 74%(20名)

まあ話せた
26%(7名)

問 4 では、回答者全員が、話が出来た・まあ話が出来たと回答しており、概ねグループ内で自分の意見を話すことが出来たと推察されます。

問 5) グループ内で他の人の話を聞いたか

あまり聞けなかった 4%(1名)
まあ聞いた

聞いた: 85%(23名)

11%
(3名)

問 5 では、96%(26名)が、話が聞いた・まあ話が聞いたと回答しており、概ね他の人の話が聞いたと推察されます。なお、あまり話が聞けなかったと回答した1名は、「話があまり聞き取れなかった」と書き添えられており、全体的に意見が聞けなかったという意味ではないと推察されます。

問 6) 四国本部での会合に参加したいか

四国外のため参加困難
参加したくない 4%(1名)

参加したい 33%(9名)

都合がつけば参加したい
30%(8名)

問 6 の今後の四国本部主催の会合への参加意向では、63%(17名)が参加したい・都合がつけば参加したいとの結果でした。参加者の大半(30名中21名)が四国外からの参加でしたが、アンケートでは、四国外の方からも参加したい・都合がつけば参加したいとの回答を頂き、望外の喜びとともに、今回の成果と次回以降の活動の進展への期待が伺える結果となりました。

問 7) 開催時期はいつが望ましいか

問 7 では、問 6 で参加したい・都合がつけば参加したいと回答した方に、開催時期の希望を伺いました。複数回答もありましたが、秋(9月~11月)、夏(6月~8月)の開催希望が多い結果となりました(グラフは割愛)。

問 8) 開催形態はどのようなものが良いか

問 8 では、問 7 と同様に、問 6 で参加したい・都合がつけば参加したいと回答した方に開催形態についての希望を伺いました。78%(14名)が、今回のように話題提供の発表とグループワークによる二部形式での開催形態、22%(4名)が、グループで話を深める開催形態を望んでいるとの回答であり、概ね、今回のような開催形態を希望していることが伺える結果となりました(グラフは割愛)。

問 9) 感想および意見

表 3 参加者の感想や意見（自由回答）概要（キーワードを抜粋して記載）

抜粋キーワード	記述回答
時間不足	・このような会では仕方なく時間不足になる。もっと意見を聞きたかった。
意見集等での共有	・意見集等でまとめられたら共有いただきたい。
技術士の視点	・技術士の視点をはっきり打ち出さないと一般論になりがちなテーマであると難しさを感じた。
考えるきっかけ	・とても参考になると同時に、仕事で他の会社の女性技術者をどうサポートするか、いろいろ考えるきっかけになった。 ・大事なことだが、解決策を見出すことに難しい問題だと考えさせられた。
全国との連携	・今後も続けてほしい。全国に輪を広げたい。 ・今後も連携を深め、活動を推進していくことが出来ればと考える。
若者の参加	・当社の若い人も参加させたい。
手法の活用	・大変勉強になった。自分の担当している地元説明会のワークショップに活用したい。
有意義参考になった	・色々な意見が聞けて有意義だった。手法等、いつも参考になる。 ・楽しく意見交換ができた。本当の意味での大会参加だと思う。 ・大変楽しく時の過ぎるのが早かった。多様な意見を聞き参考になった。 ・グループ討議が楽しかった。色々なことが参考になった。 ・一つのテーマを議論しても、テーマを入れ替えて議論しても良いと思ったので、自由度の高い今回の方法は良かった。
アイスブレイク	・アイスブレイクの内容が分かりづらかった。
参加者への事前の意識づけ	・(一部の人だが、)意見交換の場が、相談に回答する場にならないように最初に意識づけをしたほうが良い。
感謝等	・どうもありがとうございます。盛会でした。またよろしく願います。

4. 反省会

女性部会では、今回スタッフとして参加したメンバーを含めて、11月末に反省会を開催し、今回の反省や今後の展望等について話し合う予定です。

最後に、個人的な感想ですが、今回の活動では、全国の方々と男女の垣根を越えた意見交換の機会を得られ良い刺激を受けるとともに、女性部会が進めてきた女性技術者や技術者を目指す女子学生のネットワークづくりが、徳島を越えて大きく広がりを見せているように感じました。今後は、これらの幸せな繋がりを大切にしつつ、これまで育まれてきた、女性技術者同士の情報共有やお悩み相談ができる居心地の良い場所を守り育て、出来ることから一歩ずつ、楽しく活動を続けていきたいと考えます。

謝辞:女性部会の活動にご支援・ご協力くださった理事および会員の皆さまには、この場をお借りして感謝・御礼申し上げます。